

取組と目標に対する自己評価シート（フェイスシート）

市町名	大崎上島町
所属名	健康福祉課
担当者名	岡崎幸子
連絡先(電話)	0846-62-0301

タイトル	生活支援体制づくりの推進
区分(あてはまるものにチェックを)	☒ 自立支援、介護予防、重度化防止 ☐ 介護給付費等適正化

現状と課題

人的資源が乏しくなっていく社会の中で、高齢者の生活を支えていくために、社会資源の整理を行い、負担なく支え合うことができる住民主体の体制づくりを考えていく必要がある。

第9期（令和6年度）における具体的な取組

- 生活支援コーディネーターの存在、役割について住民への周知
- 生活支援コーディネーターによる住民の困りごとの把握
- 住民主体の支え合い体制づくりの啓発活動
- 支え合う地域づくり協議体の開催
- 区長、民生委員児童委員、高齢者巡回相談員合同会議への参加
- 地域づくり会議への参加

目標（事業内容、指標等）

項目	第9期目標		
	令和6年度	令和7年度	令和8年度
地域支え合う推進員 配置数	1	1	1
支え合う地域づくり協議体	2	2	2

目標の評価方法

事業実績評価

取組と目標に対する自己評価シート(自己評価結果)
(実績評価)

実施内容

○生活支援コーディネーターの存在、役割について住民への周知

○生活支援コーディネーターによる住民の困りごとの把握

- R7
- ・ふれあいサロンの利用者に生活についてのアンケート調査実施
 - ・ボランティア交流会開催により、町全体のボランティア活動について現状を把握
 - ・介護人材確保等推進協議会参加、ケアパートナー相談会実施協力

○住民主体の支え合い体制づくりの啓発活動

- R7
- ・高齢者生きがい活動促進事業「みんなの広場」立ち上げ協力

○支え合う地域づくり協議体の開催

- R7
- ・支え合う地域づくり協議体 開催なし

○区長、民生委員児童委員、高齢者巡回相談員合同会議への参加

- R7
- ・区長・民生委員・高齢者巡回相談員合同研修会への参加 3回
 - ・高齢者巡回相談員連絡会に参加 5回

○地域づくり会議への参加

- R7
- ・地域ケア会議参加 1回

自己評価結果 【 】←(◎, ○, △, ×のいずれか※を記載してください。)

○高齢者の困りごとを把握する目的でアンケートを実施したが、新たな生活課題の引き出しには至っていない。ボランティア活動の担い手の高齢化、不足の問題が上がっている。介護施設のケアパートナー（介護助手）募集に協力、介護人材の不足も継続した課題となっている。

○ 支え合う地域づくり協議体の開催には至っていないが、地域の担い手不足問題に対し、地域の支援者活動の運営について、社協やシルバー人材と協議している。

○ 地域役員の会議等に参加し、全体を通して担い手不足により現在のサービスの継続が行えなくなる不安があらわになっている

○ 地域ケア会議のケースからは、社会資源の開発には至らず。

課題と対応策

大きな課題となっている担い手不足を補う一つ的手段として、現存のサービスの運営など、地域資源について町全体で整理していく必要がある。

※「◎達成できた、○概ね達成できた、△達成はやや不十分、×全く達成できなかった」